



学校通信

夕陽丘

第53号



【校長挨拶】

人に優しく温もりある学校で、夢と志の実現をめざして

校長 網代 典子

本年4月1日、恩知理加校長（平成27年度から30年度）の後を受け、第25代校長として着任いたしました網代典子（あじろのりこ）です。平成18、19年度の2年間、夕陽丘高校で数学の教員として教鞭をとり、その後、大阪府教育庁において教育行政に携わり、11年ぶりにこの夕陽丘高等学校に戻ってまいりました。前任の恩知校長先生をはじめ、歴代の校長先生方から熱い励ましを頂戴し、重責を感じておりますとともに、これまで皆さまが築いてこられた伝統を継承しつつ、私自身のこれまでの経験と人とのつながりをすべて生かし、夕陽丘高等学校の新たなステージに向けて力を尽くしてまいります。今後とも、これまでと変わりませずご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



さて、本校が明治39年（1906年）に大阪府立島之内高等女学校として創立され、本年は113周年、また、音楽科が平成7年（1995年）に設置されてから25年を迎えます。創立以来「豊かな情操と気品のある人材の育成」を校訓とし、その時代時代の社会的ニーズに応えながら、一世紀もの年月を超えて発展し続けてまいりました。今年度も次の4つの柱を掲げ、日々の教育活動に取り組んでまいります。

- すべての教育活動にグローバル人材の育成、自主・自律の観点を取り入れる。
- 3SK【SEIRI、SEITON、SEISOU、KIKIKANNRI】で学力向上と働き方改革を推進する。

先日、第1学年の宿泊研修で同窓会会長浜田高明様から記念講演をいただきました。初代校長伊賀駒吉郎先生が大切にされた建学の精神「明朗・温雅」、本校の4本柱の1つ「自主・自律」の精神に触れられ、生徒たちは夕陽丘生としての自覚を新たにしていました。

今年度から、新しい学習指導要領の一部が先行実施されています。成人年齢が引き下げられ、予測困難な時代の到来に備え、自ら課題を見つけ、自ら考え、自ら行動できる力の育成が求められています。また、6月にはG20が、2025年には万博が、この大阪で開催されます。

本校では、学校生活や様々な学校行事、教育活動を通じて自主自律の心を養うことに重点を置いています。学生自治を基本に、学校生活や行事、部活動に主体的・協働的に取り組み、快活な生徒を育てることをめざしています。

1. 一人ひとりの進路を実現できる学力を身に着ける学校。

2. 自ら考え、行動できるように自主自律の心を養う学校。

3. 国際的視野をもち、社会の変化に対応できる。
グローバル人材を育成する学校。

4. 国内最高レベルの音楽教育を推進する学校。

発行 〒543-0035 大阪市天王寺区北山町10-10 大阪府立夕陽丘高等学校

TEL 06-6771-0665 FAX 06-6771-6267 E-mail: z-yuhigaoka@sbox.osaka-c.ed.jp

ホームページ <http://www.osaka-c.ed.jp/yuhigaoka> (題字 森 敏行先生)

また、「グローバル人材の育成」を教育目標の一つに掲げています。本校では、様々な国の留学生が多く学ぶとともに、多くの国際交流の取組みを進めています。留学生と日々の学校生活を送りながら、また交流の機会に触れ合う中で、自国を含めそれぞれの国の文化や考え、歴史を理解し、違いを認め合い、尊重する姿勢を育成しています。加えて、自らの考えを、自分の言葉で伝えることができるよう、語学力を身に付けることに力を入れ、今年度も台湾への修学旅行をはじめ、希望者への英語特別講座やニューヨークへの語学研修を実施します。

最後になりましたが、人に優しく温もりのある学校として、皆さまにこれからも愛される学校をめざし、本校教職員も全力で教育活動に取り組んでまいります。教育活動の様子につきましては、今年度から発行を予定しております夕陽丘マガジンや学校 web ページをご覧くださいますとともに、保護者の皆さまにおかれましては、ぜひ学校にお越しいただき授業見学、学校行事を通じて生徒の様子をご覧くださいますようお願い申し上げます。

【第三学年】 花山寺への道

主任 山村 文人

連休中、ふと思い立って花山寺（元慶寺）へ行ってきました。今、三年生の古典Bの授業で読んでいる「花山院の出家」(『大鏡』)に出てくる花山寺は大内裏の南東にあたり、開基は、百人一首「天つ風雲の通ひ路吹き閉ぢよ…」の歌で有名な僧正遍昭です。

教科書ではカットされていますが、『大鏡』では、宮中を粟田殿（藤原道兼）に誘い出された花山院は、陰陽師として有名な安倍晴明の邸宅の前を通ったとあることから、土御門大路を東へ進み、鴨川へ出たとされています。鴨川の堤の上に出たあたりからは、藤原兼家の命を受けた源氏の武者たちも、はっきりとその姿を見せるのですが、車の中の若き天皇はその姿に気づいたかどうか。鴨川からのルートは『大鏡』にはありませんが、粟田口を通過して、山科の方へ抜けたのかと、勝手に想像し、京阪三条から花山寺まで歩いてみました。

京阪三条から、三条通を東へ、粟田神社にお参りし、蹴上の坂をインクラインに沿って登り、峠を越えます。令和元年五月二日は、快晴で、向かいの浄水場ではツツジが満開でしたが、約千年前の夏の夜、有明の月はあつたにせよ、当時の峠越えはどんなに暗かったか、闇の中で思惑の異なる二人は何を感じていたのでしょうか。

現在の花山寺は、教科書の図版から想像していたよりもずっとこぢんまりとした佇まいでしたが、様々な春の花が満開で、文字通り花の寺でした。境内には、「人皇六拾五代花山院法皇御落飾道場」の石碑が建っています。寺内の大きな石の下に、落飾の際の天皇の髪が埋められているという言い伝えがあると、お寺の人が教えてくれました。

さて、「花山院の出家」は、寵愛する后を失った心の弱りを衝かれて、出家に追い込まれた若き帝の悲劇であり、物語の語り手である世継も、「あはれに悲しきことなりな」と述べていますが、もう一方では、これと決めた目的のためには手段を選ばず、綿密、周到に計画を練って、大胆に実行した兼家親子の成功譚と読むこともできそうです。宮中を出るにあたって、若い天皇の何気ない一言一言に振り回される粟田殿は一幕の喜劇ですが、花山帝の出家のためには、泣き真似までしてみせるという「本気度」に、ある種の純粹さまで感じてしまいます。皆さんの長い人生の中でも、これと決めた目標のために、なりふり構わず、自分を賭けてみるということが、一度はあってもいいのではないかと思います。三年生の諸君は、進路に向けて、勝負の一年が始まりました。自分を欺くことなく、夢の実現のために、着実に大胆に進んでほしいと思います。来春、皆さんの夢が、大きく花開くことを応援しています。

【第二学年】 「充実した高校生活を送るために」

主任 若林 満輝

73期生の皆さんは高校生活が一番充実する2年生となりました。この1年間の学校生活をどんな風に送ろうと考えていますか。

多くの学校行事や、将来の進路実現に向けてきちんと前向きに考え、しっかり準備をして取り組んでいくことが大変重要なことだと思います。

そこで皆さんが、この大切な1年間の学校生活をスタートさせるにあたってぜひともヒントにしてもらいたい言葉があります。

それは、先日引退した大リーガーのイチロー選手が長年の選手生活の中で実感し、発言したいいくつかの言葉です。

1つ目は『自分の中で可能性を決めない』という言葉です。自分ができると思ったことは、必ずできるとは限らない。でも、自分ができないと思ってしまったらそれは絶対にできない。ということです。

また、もう1つは、『ちょっとだけの頑張りを積み重ねてきたから今がある』です。小さいことを積み重ねることが、とんでもないところへ行くただ1つの道であるということです。

時に自分の中で限界をむかえた時に、もう少しだけ頑張ることが大切であり、また、特別なことをするために特別なことをするのではなく、特別なことをするために、普段通りの当たり前のことをするという事です。

皆さんには新たなスタートを切った今の時期に、イチロー選手の2つの言葉から何かを感じてもらい、しっかりとした目標を持って充実した高校生活を送るための材料にしてほしいと思っています。

今後、充実した高校生活を送ることで、各自が73期のキャッチフレーズである『BIG WAVE』を起こし、うまく、大胆に大きな波を乗りこなして自分の将来に繋がる道を切り開いて行って下さい。

【第一学年】

主任 寺川 理香

保護者の皆様には平素より本校の教育活動にご理解とご協力いただきまして誠にありがとうございます。

4月に入学式を終え、高校生活がスタートしてから早いもので1ヵ月が過ぎました。皆さん新しい生活には慣れましたか。74期の目標のひとつに「挨拶をしよう。」とありますが、朝の登校時や校内ですれ違うときも皆さん元気良く挨拶をしてくれるので、こちらもとても気持ち良く過ごさせていただいています。

先日、宿泊行事が無事終わりました。1日目はホテルで元同窓会長の浜田さんの講演会やベネッセさんの講習会、2時間の自習のあとのテストと学習中心でした。ホテルのエレベーターが





少なく、始めのうちは集合時間に間に合わない人もいましたが、次第にそういった状況もすべて把握し、余裕を持った行動ができました。クラスレクではどの会場からも笑い声が聞こえ、和やかな雰囲気を感じられました。2日間という短い期間ではありましたが共にとても充実した時間を共有できたと思います。今後は初めての定期考査や体育祭を控えております。やるべきことはしっかりこなしながら、学校生活を楽しんでいただきたいと考えております。どうぞこれからもよろしくお願いいたします。

【生徒指導部】 2019年度年間目標

生徒指導部が掲げる目標は充実した学校生活を送る上で、基礎となるものです。全員で協力しながらより良い学校生活を送りましょう。

● 遅刻・欠席数の減少をめざし、安心・安全な環境を整える

遅刻・欠席数を減らし、みんなが安心して学校に登校できる環境を整えていきましょう。昨年に引き続き、早朝登校指導などの遅刻指導を行います。指導の内容や有無に関わらず、一人ひとりが自分自身の生活習慣を見直し、心身ともに健康に過ごせるように考えていきましょう。

● 夕陽生としての誇りと自覚を持つ

挨拶の励行、色々な場面での夕陽生としての凛々しい態度を心がける、思いやりのある行動をする、標準着用時は正しい着用を心がける等、社会でも常識として求められることを考え行動しましょう。

● 校則の遵守

頭髮に手を加えない、ピアス・化粧・マニキュアをしない等のルールを守りましょう。携帯電話に関しては、不注意をなくし、周りの人に迷惑をかけないようにしてください。集団生活においてルールは欠かせないものであり、社会に出てもなんの制限もないところなどありません。夕陽丘のルールをしっかり守り、その上で自ら考えて行動する力を身に付けてください。

夕陽丘高校の生徒として自覚を持ち、学年を追うごとに精度をあげていくことを目標にしてほしいと思います。

【生徒指導部：自治会】 学校を、自分たちの力で有意義に！

生徒たちはクラブ活動や学校行事など、日々の自治会活動を一生懸命がんばっています。
～クラブ活動が熱い！～

全28クラブが、日々自主自律の精神で活動しています。

昨年度には、自治会執行部と夕陽丘高校の各クラブの部長28名と一年生28名が集まって、クラブスタンダード(クラブ活動の三本柱)を決めました。決まったクラブスタンダードは

○日々感謝 ○威風堂々 ○緩急自在 です。

今ある環境に日々感謝しながら、威風堂々と活動を行い、緩急自在に真剣に行うときは真剣に行い、楽しむときはしっかり楽しむ。夕陽丘高校らしいクラブスタンダードになりました！

74期生が新しく仲間となり、サッカー部が4回戦を突破したりダンス部が全国大会に出場したりと、クラブ活動は大きな盛り上がりを見せています！

～学校行事が熱い！～

新しく就任した21名の自治会執行部を中心に、学校行事も盛り上がりを見せています！

5月31日(金)には第72回体育祭が開催されます。団長を中心に、白熱した体育祭になること必至です！



一年生歓迎花道でパチリ

【国際交流委員会】 「様々な価値観に触れよう」

夕陽丘高校では、グローバル人材の育成を教育方針の4本柱の1つに掲げ、様々な国際交流活動を行っています。

海外の生徒たちと話したり実際に海外を訪れたりすることで、自分とは違った価値観に触れることでしょう。その経験は、考え方を広げ、日本や自分の将来について考えるよいきっかけになると思います。生徒の皆さん、夕陽丘高校で色々なことにぜひチャレンジして下さい。

保護者の皆様には、日頃から本校の国際交流活動に対するご理解ご支援を賜り感謝申し上げます。今年度もどうぞよろしくお願い致します。

<現在いる留学生>

- 1年生 ドイツ女子（～12月）、アメリカ女子（～7月）
- 2年生 フランス女子（～7月）、ドイツ女子（～1月）、
アメリカ女子（～6月）、スイス女子（～6月）
- 3年生 フィンランド男子（～6月）

<今年度これから来る予定の留学生>

- 6月 アメリカ男子（1ヶ月間）
- 8月 アメリカ男子、アメリカ女子、フランス女子、台湾男子（1年間）
アジア3名（国・男女未定）（半年間）
- 9月 オーストラリア男子（2週間）、オーストラリア女子（2週間）
中国（男女未定）（1年間）

↑中国留学生のホストファミリーを募集しています。短期の受け入れでも可能です。男女はホストファミリーの方の希望を先方へ伝えます。ご興味がある方は学校までお問い合わせ下さい。

- 12月 オーストラリア男子（1ヶ月間）

<今後の主な予定>

- ・台湾・高雄 鳳新高級中学（姉妹校）から生徒33名来校
5月26日（日）1泊ホームステイ、5月27日（月）学校交流
- ・AIG 米国高校生外交官日本プログラム アメリカ生徒30名来校 7月26日（金）
- ・エンパワーメントプログラム<集中英語プログラム>7月29日（月）～8月2日（金）
- ・2年生台湾修学旅行10月31日（木）～11月3日（日）
- ・中国生徒30名来校 11月11日（月）
- ・ニューヨーク語学研修 2020年3月12日（木）～24日（火） など

【保健部】

こんにちは。保健部は、生徒のみなさんが、学校生活を健康で安全に送れるよう応援していく組織です。どうぞよろしくお願い致します。

さて、新学期が始まり、周りの環境が変わりました。1年生については、学校が変わり通学時間や通学の形態（電車通学など）など、慣れるまでに時間がかかることだと思います。また、全学年において学年やクラスが変わり新しい仲間との出会いもありました。

新しい環境に適応するためには、エネルギーが必要ですね。時に疲れてしまうこともあるかとは思いますが、1日に使ったエネルギーはどこかで充電することが必要であることを忘れないでおきましょう。

食事や睡眠を含めた休養、趣味を楽しんだり、家族との会話など気分転換をする場所、場面が必要だということです。家族や先生、中学時代の仲間など、自分のことを聞いてもらえるような機会を作りましょう。

本校では、北館5階にあります、教育相談室で、昼休み、放課後と相談できるようにしています。

また、「保健室だより」「相談室だより」などの発行により、健康に関する情報やアドバイスを掲載しますので参考にしてください。

保健室前廊下の壁に、健康に関する新聞を貼っています。季節に応じたの記事がありますので役立ててください。

【進路指導部】

前年に引き続き、平成 31 年度入試も私立大学の入学定員厳正化の影響で軒並み厳しい入試になりましたが、71 期生は最後までよく頑張りました。特に国公立大学の現役合格者数は、近年では最も多くなりました。72 期生のみなさん、今までこんなに頑張ったことがないというぐらい頑張って、先輩たちの後に続いてください。自分の目標に向かって最後の最後まで努力した人はそれだけの結果を出しますし、努力した過程は自分の自信にもなります。進路指導部は、みなさんを応援しています！

平成 31 年度入試結果 (R1.5.13 更新)

国公立大学

	31 年	
	現役	浪人
東京芸大	1	0
大阪大	1	0
大阪教育大	15	0
奈良教育大	4	0
和歌山大	4	0
鳴門教育大	1	0
岡山大	0	1
山口大	1	0
愛知県立芸大	1	0
京都市立芸大	3	2
大阪府立大	1	1
滋賀県立大	1	0
奈良県立大	1	1
神戸市看護大	1	0
山口県立大	1	0
福岡県立大	1	0
合計	37	5

主な私立大 (延べ合格者数)

	31 年	
	現役	浪人
同志社大	8	16
立命館大	7	10
関西学院大	19	6
関西大	60	12
近畿大	110	28
関関同立近 計	204	72
龍谷大	36	18
京都産業大	4	9
甲南大	2	2
産甲龍 計	42	29
早稲田大	1	0
上智大	0	2
京都外大	3	0
同志社女子大	22	2
京都女子大	14	0
佛教大	5	0
大阪電通大	13	0
桃山学院大	33	0
関西外大	26	6
畿央大	25	6
武庫川女子大	45	0
摂南大	15	1
神戸女学院大	22	0
甲南女子大	25	0
大阪工業大	12	1
大阪音大	12	0

【人権教育推進委員会】 一人ひとりにはかけがえのない存在です！

夕陽丘高校では、生徒のみなさんに安心、安全な学校環境を提供するために、人権尊重の教育活動に積極的に取り組んでいます。

本校の人権学習の取組みについては、各学年において、学習課題が設定されています。講演・体

験的学習を含め、様々な視点から差別事象や人権問題について学習し、考察することで幅広く人権学習ができるよう工夫されています。

今年度の人権教育方針は以下の通りです。

第1学年：様々な障がい者問題について学び、共生社会実現に向けた意識を向上させる。

第2学年：海外修学旅行を通じて、異文化を理解する。

第3学年：「近畿統一用紙」の意義と「働く者の権利」について学ぶ。

【平成30年度の取組み】

第1学年（73期）

①学校生活に関するアンケート調査。

②人権講演会 「障がいと向き合って～突然障がい者になった私～」

パラリンピック競泳日本代表 久保大樹氏

第2学年（72期）

①異文化理解・修学旅行事前学習Ⅰ 「日台合作映画“KANO”鑑賞会」

②異文化理解・修学旅行事前学習Ⅱ 講演会 大阪成蹊女子高等学校校長 谷井隆夫氏

第3学年（71期）

①人権ホームルーム 近畿統一用紙の経過と意義

②講演会 「社会に出る際に知っておきたいこと～勤労者の権利について」

社会保険労務士 松島ともみ氏

③人権HRに関するアンケート（3年間の総括的内容）

上記の取組みに加えて、各学年で「人権アンケート」「人権キャッチコピー」「人権啓発作文」等を実施しました。

私たちを取り巻く社会では「同和問題、障がい者問題、外国人問題、DV、通信機器上の書き込み、セクハラ、マタハラ等の女性差別、パワハラ、LGBT」など、様々な差別事象が存在しています。これらの事象について学ぶことによって「差別をしない、させない、許さない」を自らのものとする人権意識を育み、安全で安心して過ごせる学校をめざしていきたいと思います。

【音楽科】

ヴィオーラホールで音楽を！

科長 片寄 真一

昨年度後半、耐震工事のため長い間使えなかったヴィオーラホールがオープンしています。外部から著名な音楽家をお招きして実施する『特別公開講座』や『ピッコロコンチェルティスタ』と呼ばれる学内演奏会など、音楽科の行事が今年度も充実しています。生徒の皆さんはもちろん、保護者の皆様も鑑賞していただくことができますので、お気軽にヴィオーラホールにお越しください。

5月11日（土）12時開演 第171回ピッコロコンチェルティスタ

7月17日（水）13時30分開演（予定）

特別公開講座：シュトロッセ氏によるピアノ演奏とレッスン

7月19日（金）13時開演（予定）

特別公開講座：辻政嗣氏による声楽演奏と合唱の指導

8月26日（月）開演時間未定

特別公開講座：川島幸子氏（声楽）川島基氏（ピアノ）

9月6日（金）7日（土）第172回ピッコロコンチェルティスタ（文化祭）

音楽科第23回定期演奏会 令和元年10月13日（日）午後2時開演

会場：ザ・シンフォニーホール 客演指揮：太田弦

内容：独唱・独奏・アンサンブル・合唱・管弦楽・和楽器合奏